

8 半田運動公園におけるパークマネジメント

半田運動公園は、本市の健康・スポーツゾーンに位置付けられ豊かな緑を有するオープンスペースであり、スポーツ推進計画の基本理念で示されている『市民が、だれでも、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しむことができる社会、すなわち「生涯スポーツ社会」の実現』に向けたスポーツ活動の場であり、豊かな地域づくりに資する交流の空間、都市環境の改善、都市の防災・減災性の向上等、多様な機能を有する貴重な都市公園です。

一方、半田運動公園を取り巻く近年の社会情勢は大きく変化しており、人口減少・少子高齢化や利用者のニーズの多様化に伴う利用形態の変容や施設の老朽化に伴い維持管理・運営者費の増大、都市公園が持つ効果を引き出す人材の不足等の課題が生じています。

こうした状況を踏まえ、半田運動公園を有効に活用していくためには、市民やスポーツ団体、学校、行政、民間事業者等にとって貴重な共有資産であることを認識し、都市公園として効果的かつ効果的な維持管理・運営を推進し利用価値を高めていくことが必要です。このため、新総合体育館（スポーツ活動の拠点）の立地を機会に半田運動公園では「パークマネジメント*」手法を導入し、関与する全ての人々が連携・情報共有して利用価値の向上に向けた様々な取組を展開していきます。

*パークマネジメントとは、行政の貴重な資源となる公園にコミュニティ(安らぎ、憩い、賑わい)形成や環境保全と活用、防災・減災などの効果を行政、市民、スポーツ団体、学校、民間事業者が連携しながら、様々な技術や多様な運営手法を用いて最小限のコストで最大化させようとする手法 1 つのことです。

